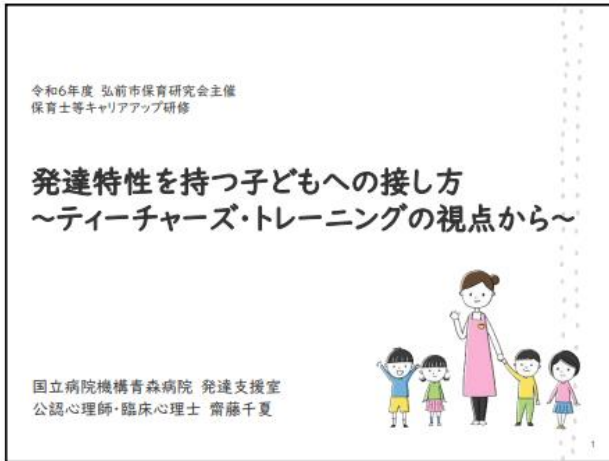
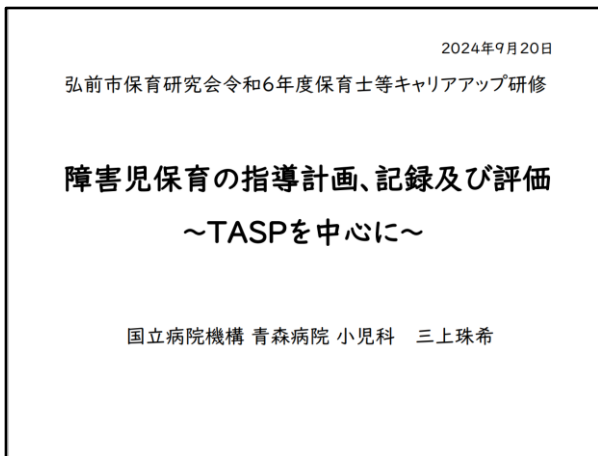


2024年度 発達ネウボラプロジェクト 発達支援室 訪問支援事業

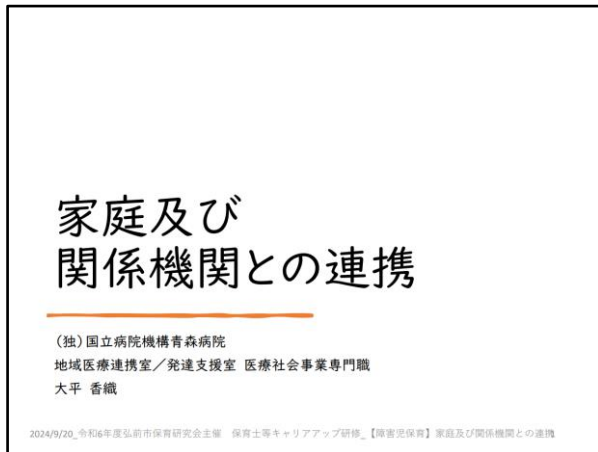
令和6年9月20日に、「令和6年度 弘前市保育研究会主催 保育士等キャリアアップ研修」を委託されて行いました。



齋藤心理士には、「ティーチャーズ・トレーニング」について、お話いただきました。ティチャーズ・トレーニングの概要について説明した後で、実際に体験してもらいました。Step1「子どもの行動を3つにわける」、Step2「肯定的な注目を与える」、Step3「好ましくない行動を減らす～ほめるために待つ～」、Step4「伝わりやすい指示を出す」の4つを、ワークシートを用いて行いました。



三上小児科医長には、「TASP(保育・指導要録のための発達評価シート)」を中心に、お話いただきました。これは、保育の5領域(言葉・人間関係・環境・健康・表現)にそって、対象児の行動を評価し、実際の日常生活において、どのような認知行動特性を示しているかを知り、支援につなげるためのものです。また、就学時に園から学校への引継ぎや情報伝達にも活用できる、とのことでした。



大平医療社会事業専門職には、「保護者・家族の理解と支援」「関係機関との連携」について、Q&A方式でお話いただき、「連携を強化するための課題と解決策」については、当院での取り組みを例にしてとりあげ、お話いただきました。保護者の生活と心理を理解し、関係機関の機能を知り、地域での連携を強化しながら、最終的には子どもと保護者への支援につなげていくことが重要、とのことでした。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

文責 品川